



平成23年8月31日

文部科学省及び茨城県による 航空機モニタリングの測定結果の修正について

昨日（8月30日）公表しました、文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの測定結果の一部に誤りがありましたので、修正します。

1. 測定結果の修正内容

文部科学省は、航空機モニタリングの測定結果の精度向上のため、6月～7月期において採取された約2,200箇所の土壌の核種分析結果をもとに、地表面への放射性物質の沈着量と空間線量率の比例関係（以下、「換算係数」という。）を算出し、その換算係数を用いて、第3次航空機モニタリング以降の航空機モニタリングの結果を改訂した。（8月30日公表済み）

他方で、文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果についても、この換算係数を使用し、地表面への放射性物質の沈着量を算出するべきところ、茨城県南部を除き、以前、使用していた換算係数を用いて放射性物質セシウムの沈着量を算出していた。そのため、一部の地域について、本来の数値よりも、測定結果が大きくなっていた。

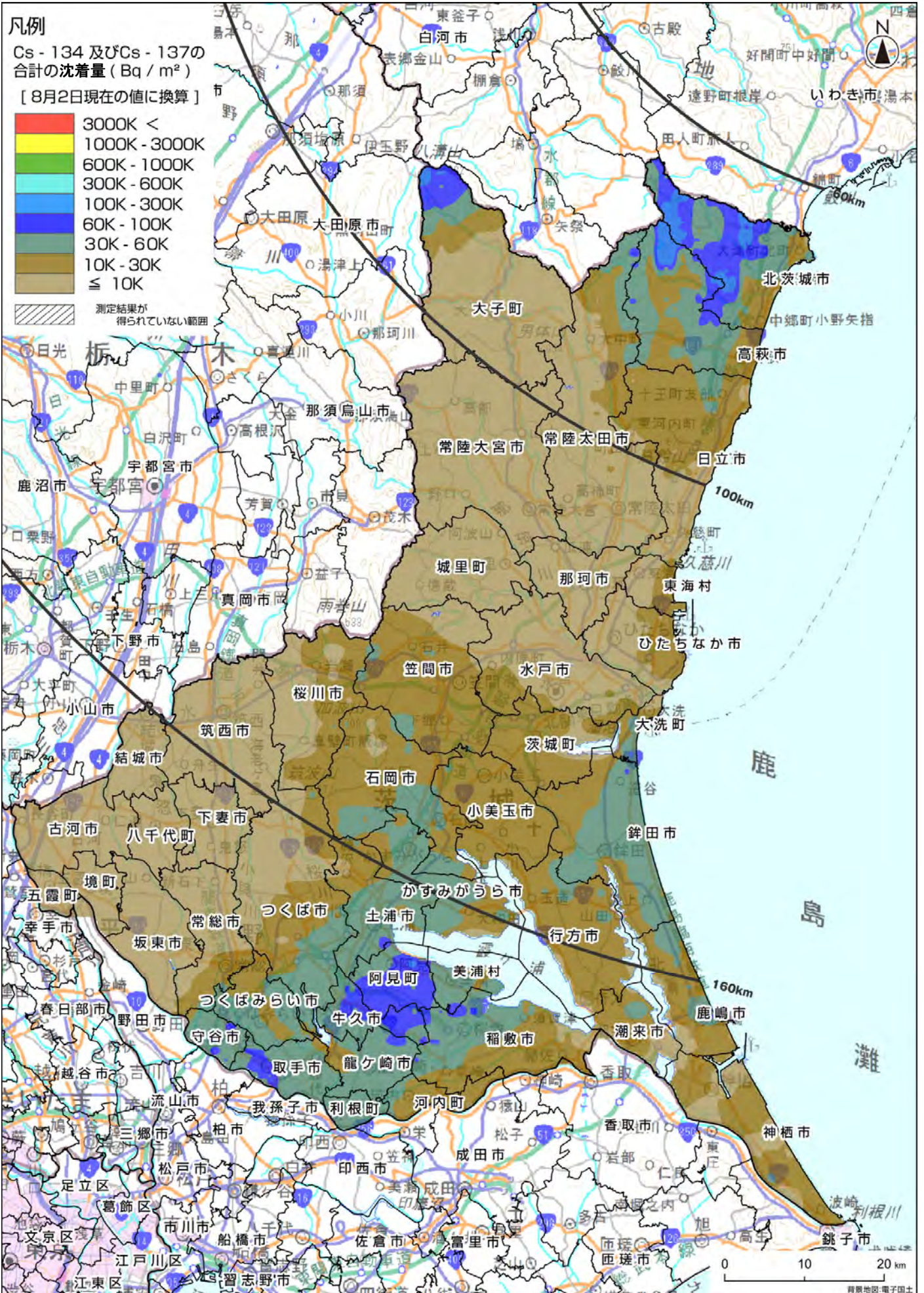
そこで、再度、正しい換算係数を使用して、文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果を修正する。（別紙1～6）（空間線量率の測定結果をマップ化した参考1, 2については変更なし）

2. 今後の対策

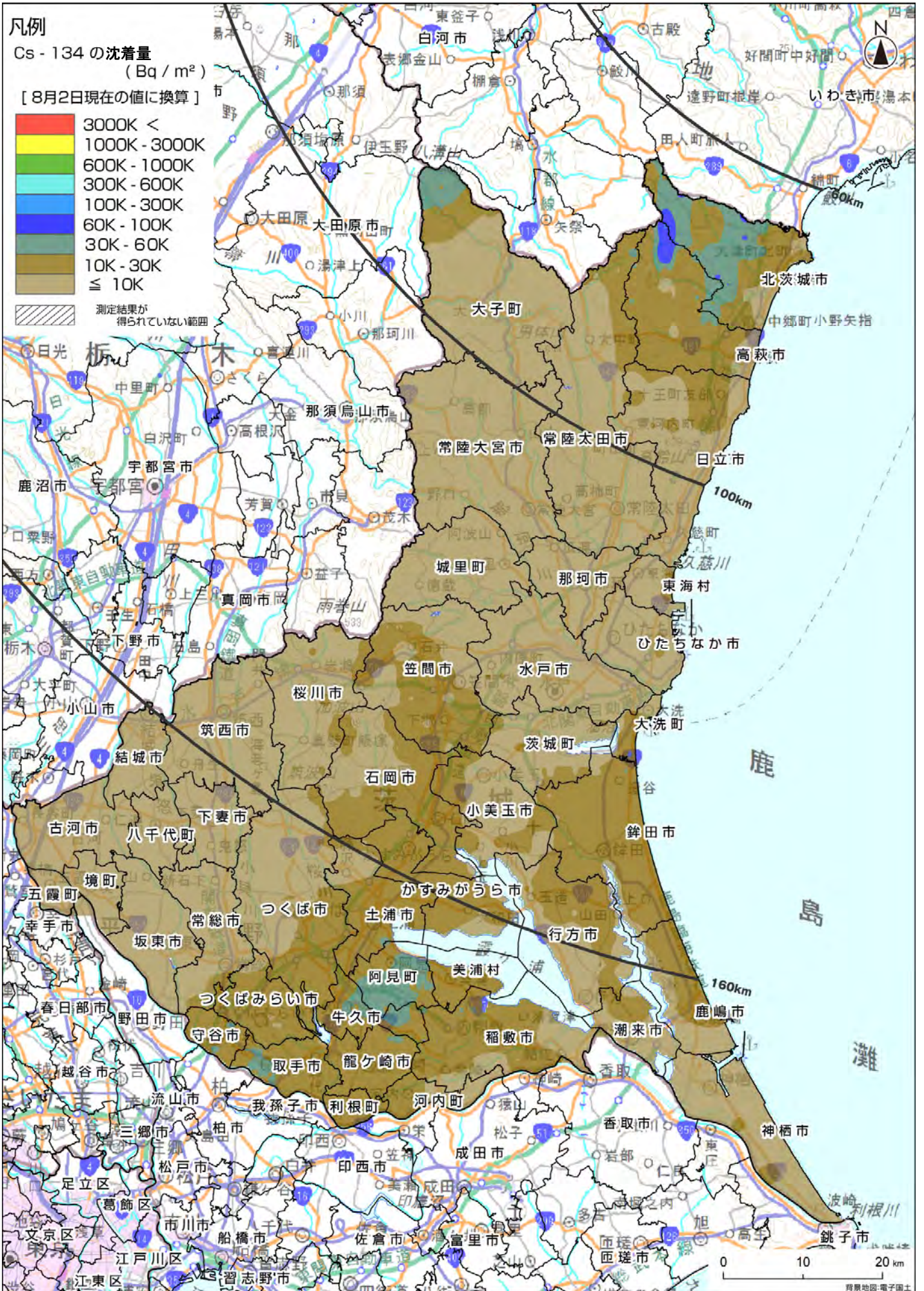
これまで、航空機モニタリングの結果の解析は、（財）原子力安全技術センターが実施していたが、今後は、（財）原子力安全技術センターに加え、共同で航空機モニタリングを実施している（独）日本原子力研究開発機構がクロスチェックを実施し、測定結果の妥当性を確認していく。

<担当> 文部科学省 原子力災害対策支援本部
堀田（ほりた）、奥（おく）（内線4604、4605）
電話：03-5253-4111（代表）
03-5510-1076（直通）

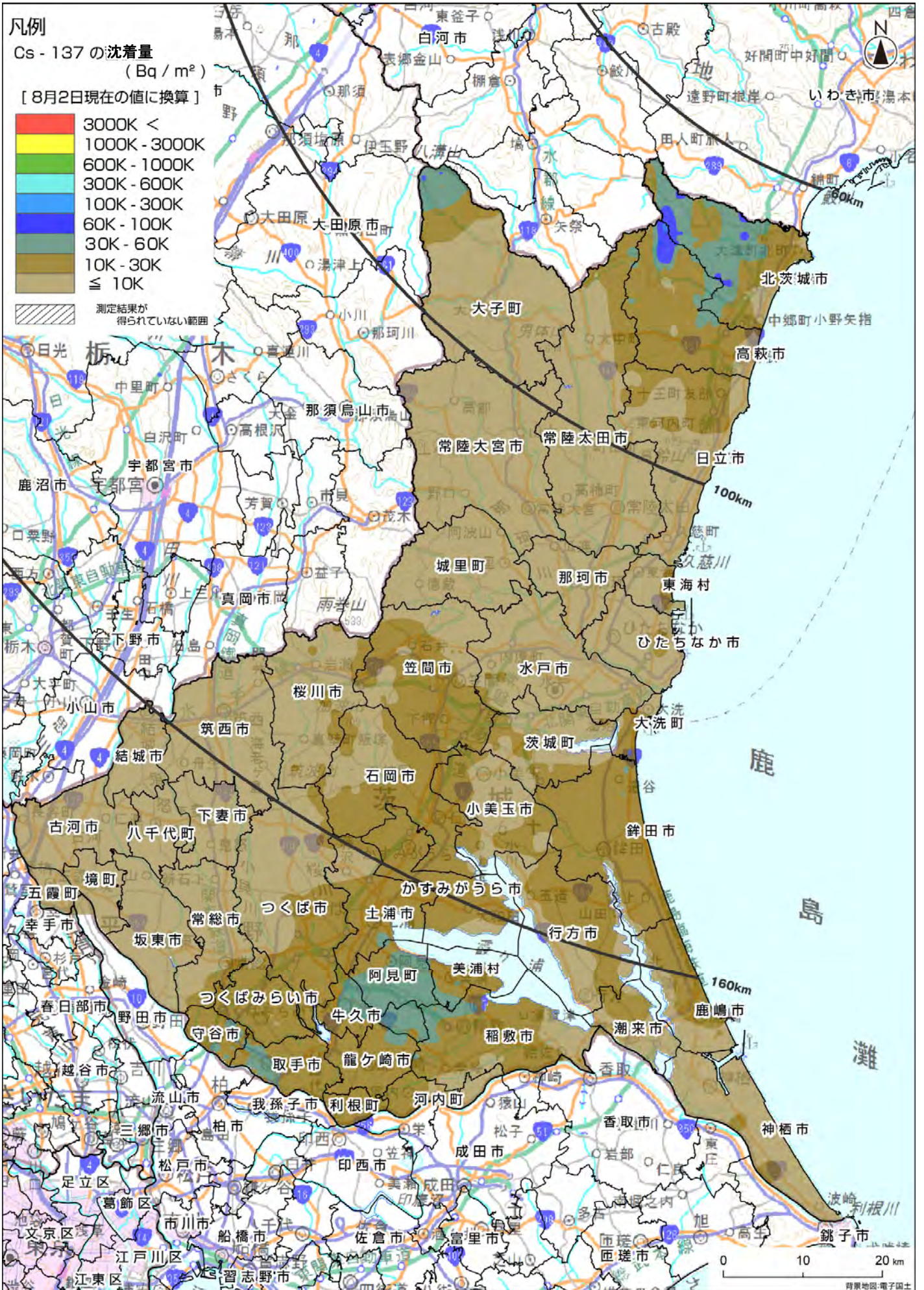
文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果 (茨城県内の地表面へのセシウム134、137の沈着量の合計)



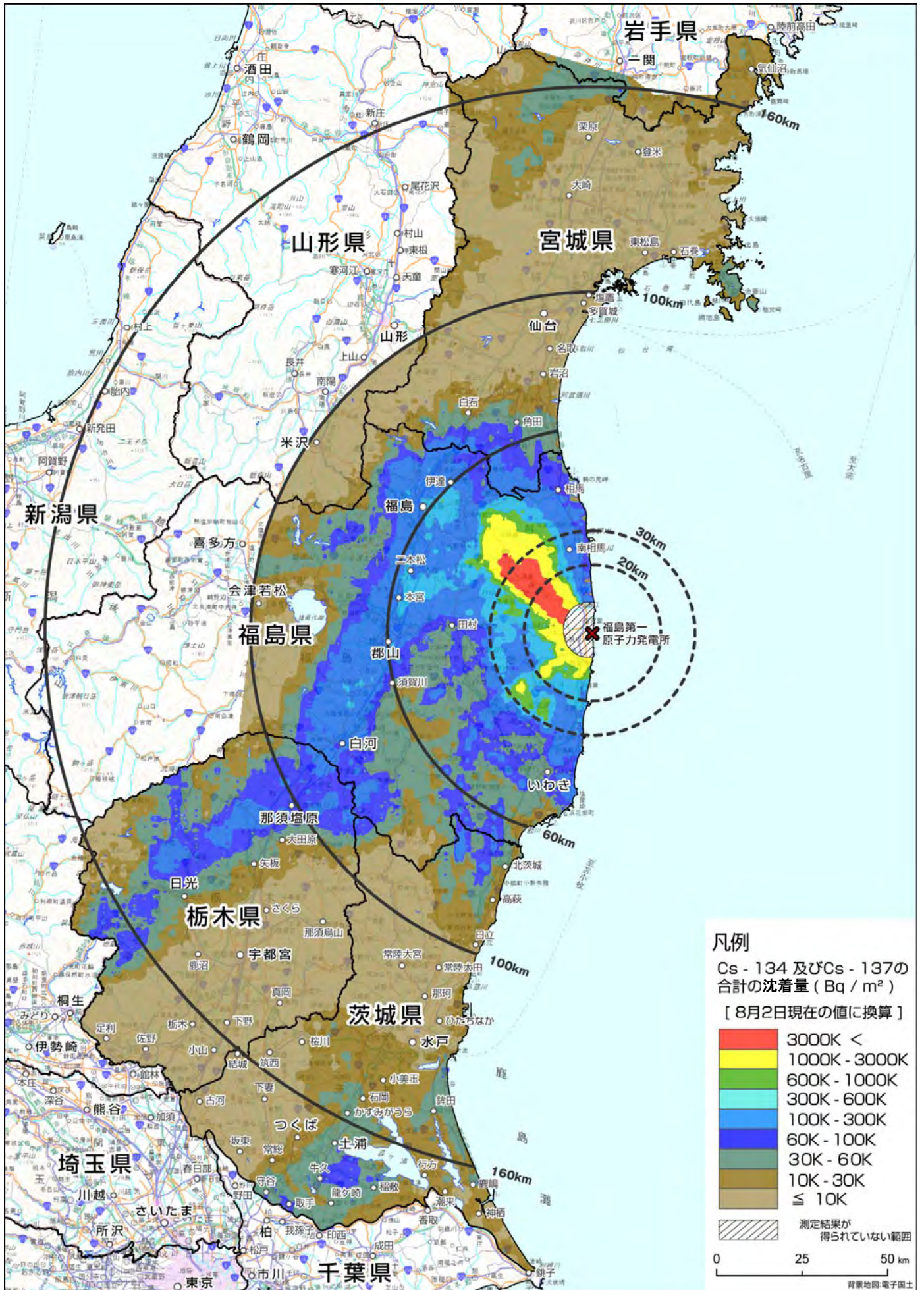
文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果 (茨城県内の地表面へのセシウム134の沈着量)



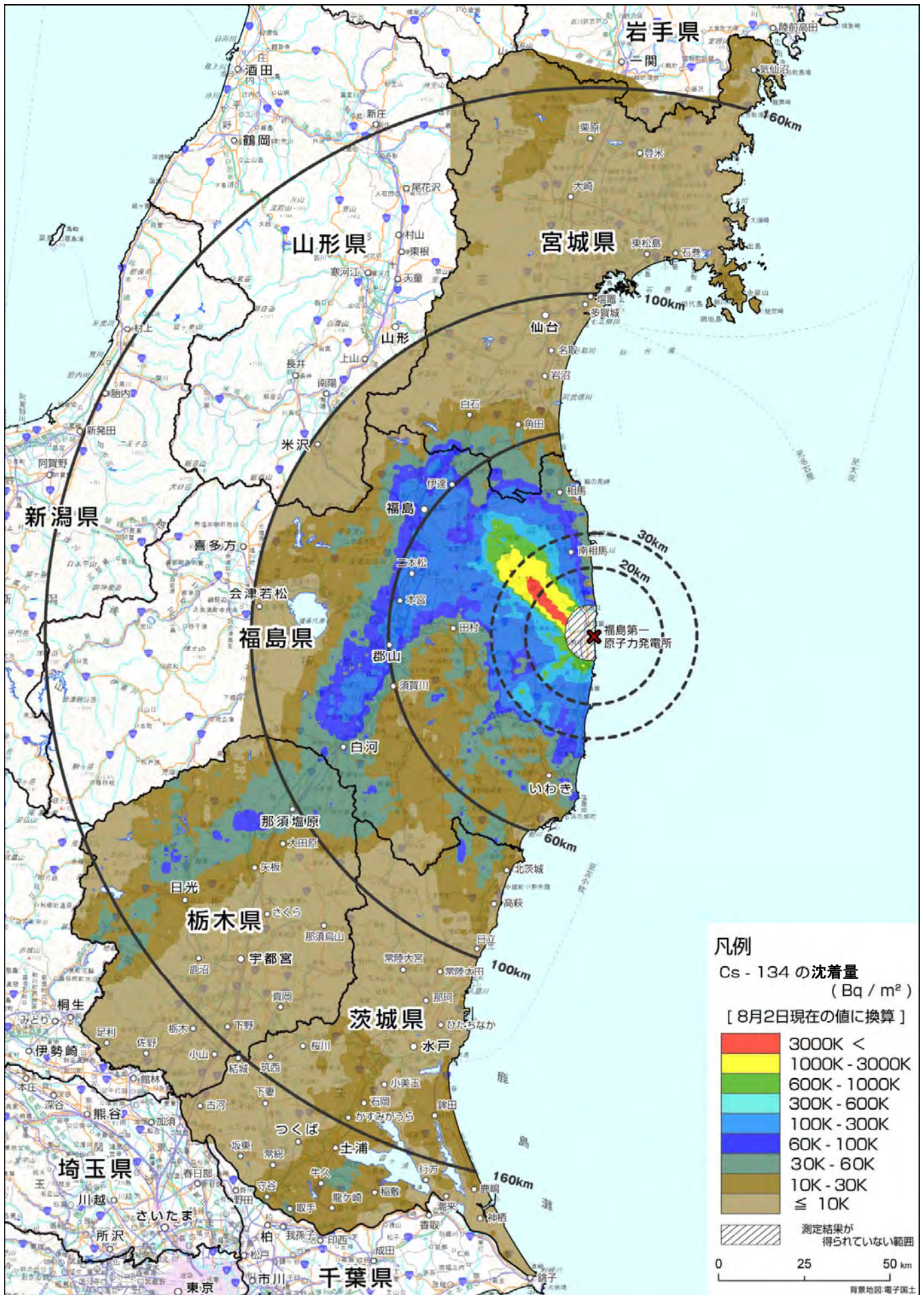
文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果 (茨城県内の地表面へのセシウム137の沈着量)



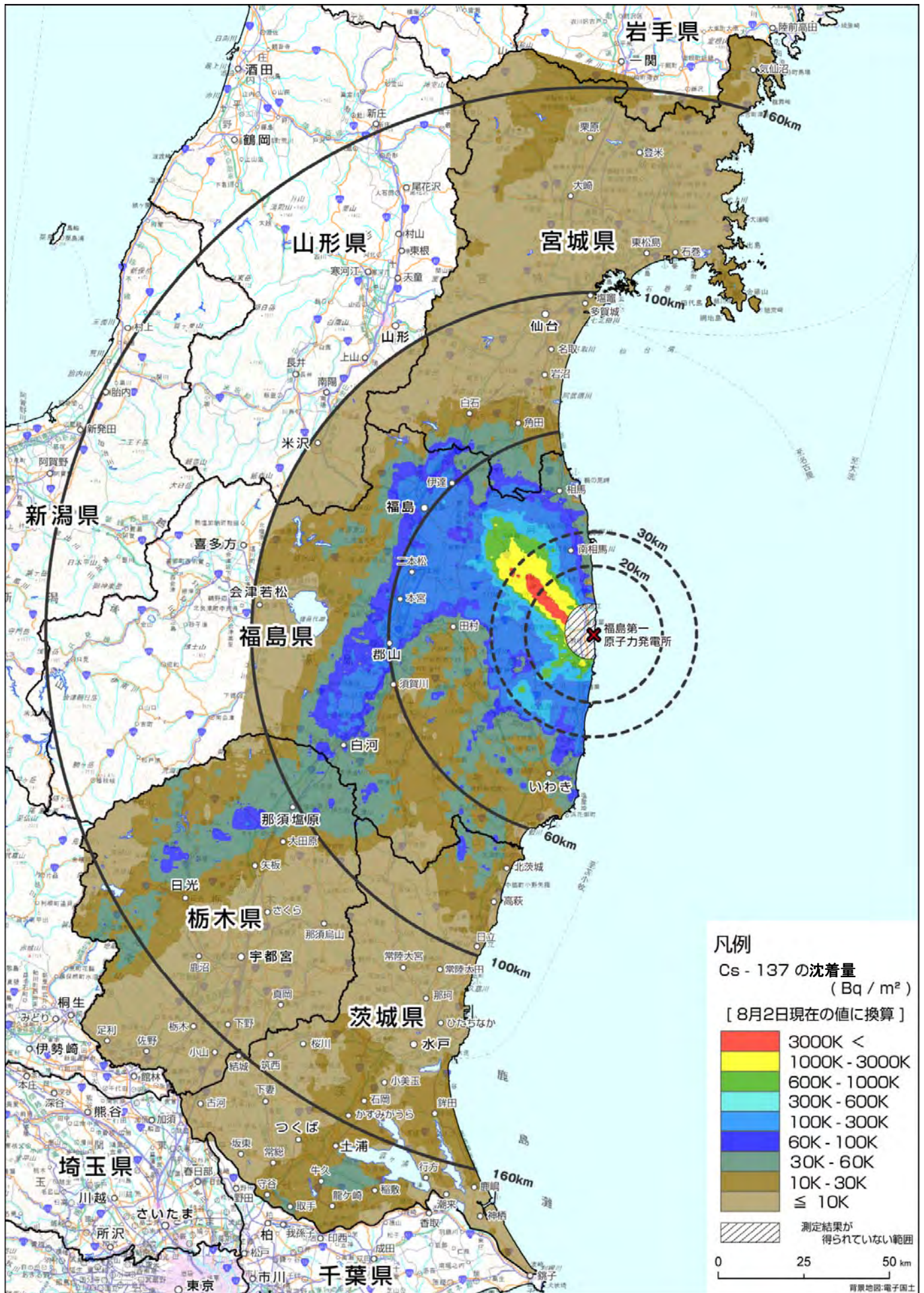
文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果
 (文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び茨城県内の
 の地表面へのセシウム134、137の沈着量の合計)



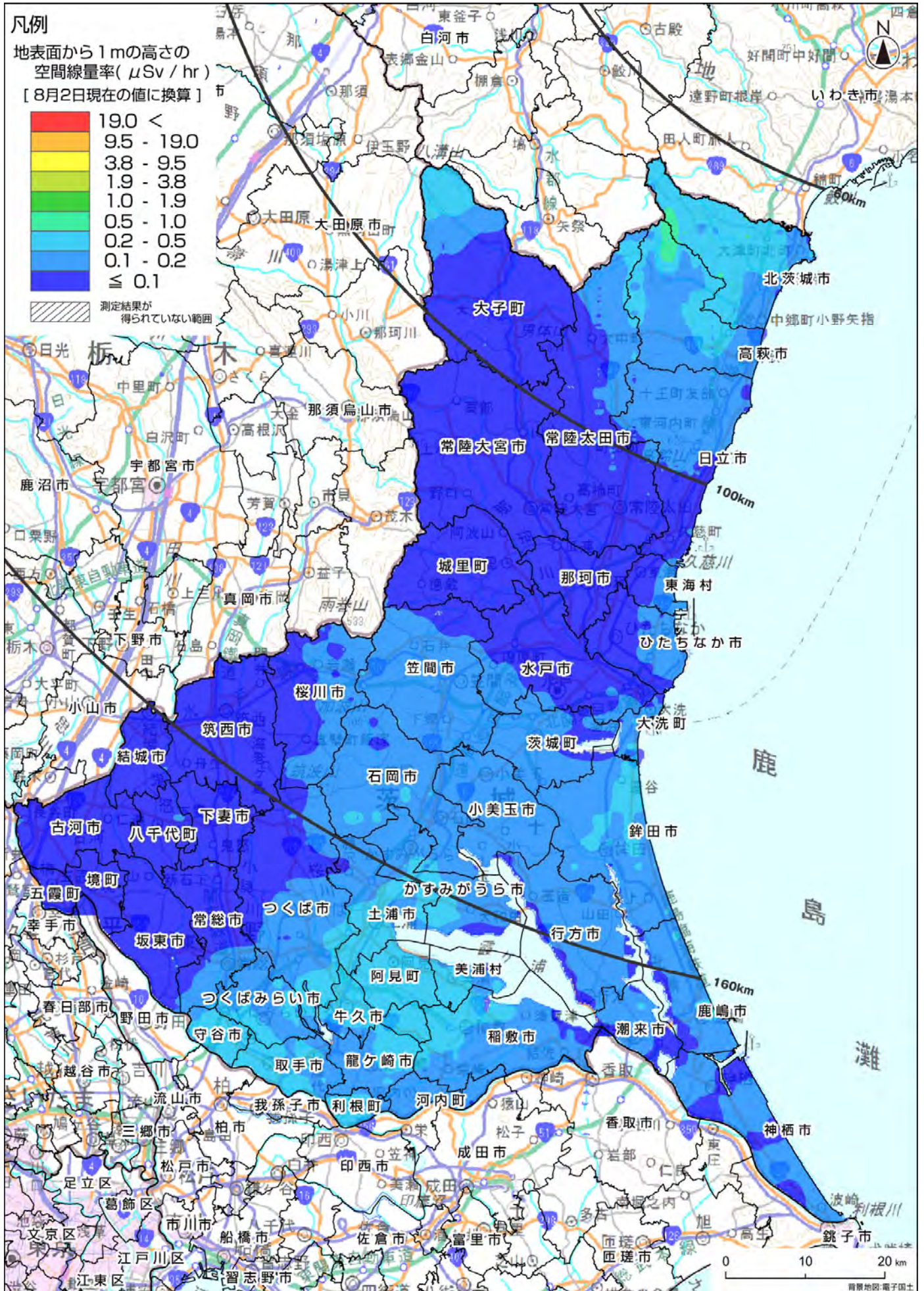
文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果
 (文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び茨城県内の
 の地表面へのセシウム134の沈着量)



文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果
 (文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び茨城県内の
 の地表面へのセシウム137の沈着量)



文部科学省及び茨城県による航空機モニタリングの結果 (茨城県内の地表面から1m高さの空間線量率)



文部科学省による航空機モニタリングの結果
 (文部科学省がこれまでに測定してきた範囲及び茨城県内
 における地表面から1m高さの空間線量率)

(参考2)

